

全日本学生クリテリウム・シリーズ戦の創設について

2006年2月9日
日本学生自転車競技連盟

立命館大学びわこ草津キャンパスにおいて開催される全日本学生選手権クリテリウム大会も今年で8年目を迎えます。また欧州派遣事業によりベルギー・オランダのクリテリウム大会に派遣された数多くの選手が、帰国後にめざましい成長を遂げています。こうした実績は、クリテリウム大会が学生競技者のロード競技の基礎的な力量・技量の向上に効果的であることを示しています。またインターバル中間スプリントは、トラック競技に求められる運動能力を試される場面でもあります。

学生自転車競技者の強化と普及には、こうした機会をより多く持ち、年間を通して参加できる大会数を飛躍的に増大させる必要があると考えられます。

2005年度には、前述の「全日本学生選手権クリテリウム大会」・「西日本学生選手権クリテリウム大会」のほか、埼玉県自転車競技連盟など他の主催者の協力を得ながら2つの「東日本学生クリテリウム大会」が実施されました。

2006年度は、この方針を更に発展させ、参加資格を東西で制限することを無くし、以下の2系列の大会に再編いたします。

●ひとつの「全日本学生選手権クリテリウム大会」

- ・優勝者に「選手権者」の称号とチャンピオンジャージが与えられる
- ・決勝進出者にインカレロードなどの参加資格が与えられる
- ・学連ランキングポイントが与えられる

●多数の「全日本学生クリテリウム大会・シリーズ戦」

- ・8位以内入賞者に賞状、3位以内に賞品が与えられる
- ・8位以内入賞者にインカレロードなどの参加資格が与えられる
- ・シリーズ通算成績上位8位以内に学連ランキングポイントが与えられる
(シリーズ通算成績は、各ラウンドの1位から8位迄に10, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1点を与え、全ラウンド通算ポイントの高い順に決定される)

2006年度全日本学生クリテリウム大会は、これまでの埼玉・千葉に加えて、長野・東京などでも開催し、合計9戦の実施を計画しています。多数の大会の開催を、予算的な負担増なく実現するため、都道府県連盟主催の既存大会との共催を基本的な開催形態とし、学連から派遣する競技役員は競技運営水準と安全性の確保を担保するために必要な少人数の派遣にとどめるなどして、大会ごとのエントリー収入で支出をまかなう独立採算で運営される予定です。

以上